



当日のハナダイ仕掛け

竿II全長2m オモリ負荷表示30〜80号

7:3調子のライトゲーム用

リールII小型両軸

Tackle Guide

全長2メートル前後で7:3調子のライトゲームロッドがこの釣りには使いやすい。60号のオモリを下げて、竿先から30〜40センチ曲がるくらい柔らかさで、反発力が少ない素材（グラス混いの軟らかさで、低弾力カーボン使用）の竿が、シャクって止めたときに仕掛けが安定する。リールは小型両軸または小型電動。竿は終始手持ちでシャクリ続ける釣りなので、リールともに軽量なものを選びば疲れにくい。

十数年ぶりの感触

「ハナダイは明るくなってから食うよ」と常連さん。その言葉どおり、水平線に

第11号降正丸には、すでに各釣り座にコマセとバケツが用意されていた。支度を終えると船はゆっくり沖へと向かう。30分ほどポイントに着いてもまだ日の出前、夜釣りのような雰囲気だ。「水深29メートルです。20メートルまで誘い上げてくださ



▲飯岡沖のハナダイはだれでも楽しめる手軽さも魅力

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス!
これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

寒い冬場は防寒対策も必要だけど、誘ってアタリを出すアクティブな釣りなら自然と体も温まるといもの。釣り人にとってはそれが一番の防寒対策!?

▼いい群れをとらえると多点掛けで釣れる



「ハナダイは明るくなってから食うよ」と常連さん。その言葉どおり、水平線に広がる雲の間から光が差し込んでくる。そこになるとハナダイのアタリが開始した。シャクって止めた竿先にコッソと小さなアタリが出る。すかさず合わせを入れるとしっかりとした手応えが伝わった。竿を立てたままリールを巻く。魚が下に突っ込むと、竿先がコンコン!と鋭くたたかれる。引く張りはこぼれずに竿の弾力を使って魚の引きをいなす。2メートルのライトゲームロッドに伝わるハナダイの引きは、実に気持ちいい。この感触は何年ぶり、いや十数年ぶりに味わったように思う。上がったきたビシをコマセオケに入れ、両手でハリスをたぐると白く輝く魚影が見えた。抜き上げたのは25センチのハナダイ。下から2番目のカラーバりに食っていた。ハリを外すためつかもうとすると、ピチピチと暴れ回る。

少し探索するとすぐに反応は見つかり、ハナダイがアタリを送ってくる。バケツの中はハナダイで溢れてきた。陽が高くなったとき、ひときわ強い引きの魚が掛かった。ハリスは2号、切られないように慎重にヤリトリするが、

このすばしっこさが小気味よい引きを生み出すのだろう。船長はいい反応に当ててくれたようだ。船中あちこちで竿が曲がって2点掛け、3点掛けで釣り上げる人もいる。食いのいいときは高めのタナを狙うのがコツで、ハナダイは大型ほど浮いていることが多い。底から7メートルでシャクったときにズドンと重く竿先を引く張ったのは、30センチ近いオデコが突き出したオスのハナダイだった。この日は一番先のハリとその手前の2本のハリにオキアミを付けて釣ることが多かった。食いのよい流しでは空バリにも食って来たが、全体を通してはオキアミを付けたハリのほうが食いはよかった。アタリが遠くなる船長はすぐに移動の合図を出す。群れは頻りに移動しているようで、さながら船長とハナダイの追いかかけっこという感じの釣りだ。

飯岡沖のハナダイ、今シーズンの魚影の濃さは太鼓判を押しでもいいだろう。水深も浅く道具立てでもシンプルで、初心者からベテランまで楽しめる釣りだ。

●船宿information
九十九里飯岡港
降正丸
☎090-3687-9000
(詳細は巻末の情報欄参照)
▶料金=コマセハナダイ乗合一人1万1000円(コマセ、氷付き)。付けエサのオキアミ1パック500円。女性、中学生以下割引。貸し竿、仕掛け販売あり
▶備考=予約乗合、4時集合。ほかヒラメ乗合、テンヤマダイ乗合へも出船



鈴木 淳夫船長

数の胴つき、型のウイリーという感じで好み分かれていたが、いずれの釣りも東超え釣果が珍しくないほどハナダイが釣れていた。その後、職漁船による乱獲のせいか、それとも温暖化による水温変化のせいか、ハナダイの魚影は減って、専門に狙う船も減った。そのころに台頭してきた一つテンヤのマダイ釣りが、ハナダイに代わって現在では飯岡のタイ釣りの主役になって

いる。しかし、昨年からハナダイの魚影が戻ってきたと降正丸の鈴木淳夫船長は言う。あちこちにハナダイの反応が出ており、トップはコンスタントに50枚前後の好釣果が続いている。名場所復活、オールドファンにはうれしい限りだ。久しぶりのコマセシャクリによるハナダイ釣りが楽しみで、ワクワクしながら車を走らせる。集合は4時だが、3時半には受付が始まった。船宿の卓上の船型ボードから席札のマグネットを取り、乗船名簿を書いてから受付を行う。必要な人は受

知得! Tips and Tricks
カラーバリの4本バリ仕掛けの使い方

降正丸では船宿オリジナルのハナダイ仕掛けを販売している。カラーバリ4本の仕掛けだ。ひと昔前はコマセハナダイはウイリーバリを使うのが主流だったが、カラーバリでもウイリーと同じ効果があり、エサを付けなくても食ってくる。カラーバリのいいところは、エサのオキアミを刺しやすところだ。通常は一番先のハリにもオキアミを刺し、ほかの3本はエサを付けなくて釣るが、食いが渋いときには2〜4本のハリにもオキアミを刺してゆっくり誘う。また、食いが活発なときは4本すべてエサを付けずにカラーバリだけにすれば手返しがよくなる。状況に応じて攻め方を変えよう。



▲状況に応じてカラーバリ仕掛けにオキアミエサを付けていく

魚影の濃さは太鼓判!
飯岡沖のハナダイ復活

●九十九里飯岡港発↓飯岡沖
フットミンクライター/伊井泰洋 Yoshitomo Ii